



津別町と二水郷の親善を願い打ち上げました

親善の思いを込めた天燈祭り  
大盛況だったつべつ雪まつり

2月16日、17日の両日、ててこいランド横広場で5年振りとなるつべつ雪まつりが開催され、天燈の打ち上げや雪中競技などで賑わいました。

16日の前夜祭では台湾の二水郷から陳文獻郷長補佐官、張錫池歴史文化室長、通訳の郭仲熙次長を招き、町民会館で50人の方が指導を受けながら赤



陳郷長補佐官から記念品を贈られました



仮装カラオケ大会は大爆笑でした

黄色、白の高さ1・3mの天燈30基を製作しました。

天燈祭では陳郷長補佐官が「天燈の打ち上げを通じて津別町の皆さんとの交流と友好を深めていきたい」とあいさつした後、佐藤多一町長に記念品を贈呈しました。この日は強風のため3基の打ち上げでしたが、「世界人類 幸福平安」「津別町 二水郷 親善」と書かれた美しい天燈が夜空に舞い上がると町民からは大きな歓声が上がりました。

17日は朝から多くの家族連れが訪れました。雪中の旗を奪い合うスノーフラッグや3人1組で丸太を引っ張る真冬の大会など競技が行われ、参加者の雪まみれになる姿に大きな笑い声が上がっていました。

その他にもリコーダーコンサートや仮装カラオケ大会、商品券が当たる大もちまき大会が行われ、多くの町民が屋台村の焼き鳥、おでん、イカ焼き、カレーライスなどを食べながら冬のイベントを多いに楽しみました。



激走のスノーフラッグに大歓声が！

双子の桜で風にも負けない愛を誓う  
聖バレンタインデーの夜を演出

2月14日のバレンタインデーの夜、双子の桜の下にアイスキャンドルを並べた幻想的なハートが出現しました。今年で21回目を迎えたこのイベントは双子の桜ファンクラブ（江草智行会長）が取り組んでいる恒例行事でバレンタインデーの夜には欠かせないものになっています。今年も津別高校生徒会7人の協力で85個のアイスキャンドルをハート形に並べました。点灯は強風のため何度も火を付け直しましたが、懸命な作業のおかげで縦20m横8mの大きなハートが浮かび上がりました。スキー場の照明が落とされたところには、多くのカップルや家族連れが訪れ、ハートをバックに記念写真を撮ったり、ロマンチックな夜を過ごしていました。



幻想的なハートが今年も灯りました

今年も全国大会金賞獲得を目指して！  
活汲スプリングコンサート開催



参加者全員で「Tomorrow」を熱唱しました！

2月16日、中央公民館で全国リコーダーコンテストに出場する活汲リコーダーアンサンブルのスプリングコンサートが行われました。

小学生は全国大会出場曲「シンブル・サンバー」アット・ザ・サーカスなどを含む3曲、中学生も合奏の全国大会出場曲「フェン・シャル・ザ・サンシャイン」など2曲を披露し、会場を訪れた約100人の観衆からは、春を思わせるような見事な演奏に大きな拍手が送られていました。

最後に津別中学校吹奏楽部と津別混声合唱団、桜井浩子さんとの合同合奏が行われ、会場内は音楽の大きな輪で広がっていました。

交通安全の看板をありがとう  
梶原光雄さんに感謝状を贈る



児童会長の水上さんから花束を受ける梶原光雄さん

寒さに負けず頑張りました  
活汲中学校の生徒が雪像づくり



2日間の作業で6基の雪像を完成させました

2月8日、津別小学校の体育館で10数年にわたり、交通安全の標語看板を製作してくれた達美（ケアハウス在住）の梶原光雄さん（93歳）に全校児童の前で水上隆PTA会長から感謝状が贈られました。引き続き児童会長の水上知香さんが花束を手渡し、「私たちのために看板を描いていただきありがとうございます。これからも体に気を付けて長生きしてください」とお礼の言葉を送りました。

2月8日、津別小学校の体育館で10数年にわたり、交通安全の標語看板を製作してくれた達美（ケアハウス在住）の梶原光雄さん（93歳）に全校児童の前で水上隆PTA会長から感謝状が贈られました。引き続き児童会長の水上知香さんが花束を手渡し、「私たちのために看板を描いていただきありがとうございます。これからも体に気を付けて長生きしてください」とお礼の言葉を送りました。

2月14日と15日の両日、活汲中学校の全校生徒が網走川の工事を請け負う共同企業体の指導を受けながら6基の雪像を作りました。

今年で2年目を迎えた雪像づくりは共同企業体の地域貢献の一環として行われ、北見河川事務所職員から網走川と常呂川の講話やビデオを見た後、グラウンドに準備された高さ2m、縦横1mの6基の雪柱で製作テーマのアニメのキャラクターなどを作りました。

2日間とも強風が吹き付ける中で作業でしたが、一生懸命スコップを動かしていました。翌日は水で光沢を付けるなど仕上げ作業を行い、見事な作品を完成させました。

長年の交通安全指導に貢献  
松浦さんが道社会員献賞を受ける



松浦さんに社会員献賞が伝達されました

2月19日、町長室で長年にわたり子どもたちを見守り、交通安全指導に貢献してきた松浦秀齊さん（大通り）に佐藤多一町長から北海道社会員献賞の表彰状が伝達されました。

松浦さんは昭和56年から26年間、交通指導員として下校時の子どもたちを含めた地域住民への安全指導の徹底と安全思想への普及、行事の交通整理などに貢献してきたことが今回認められたものです。

受賞に際し松浦さんは「小さな事故でも起こしてしまうはこの賞の意味がなくなってしまうので、今まで以上に運転には気を付けていきたいです」と感想を話してくれました。

2月18日、林野火災予防のポスター部門で北海道知事賞の最優秀賞に選ばれた木島乃の花さん（5年生）と優秀賞



【左】最優秀賞 木島乃の花さん  
【右】優秀賞 水上知香さん  
賞に入選した水上知香さん（6年生）に津別小学校の体育館で平塚努網走支庁長から表彰状と記念品の伝達が行われました。特に全道818作品から選ばれた木島乃の花さんの最優秀賞作品は、平成20年度林野火災予防のポスターに採用され、全道各地に張り出されています。

受賞した木島さんは「きれいな木が燃えてしまっ感じを描きました。特に火をリアルに立体的にしました、賞がもらえてうれしいです」水上さんは「入賞するとは思わなかったのでとてもうれしいです」と話してくれました。